

緊急連絡先 

消防(火事・救急) **119**

警察(事件・事故) **110**

大野城市役所(災害警戒本部・災害対策本部)	092-501-2211	春日警察署	092-580-0110
那珂県土整備事務所(代表窓口)	092-513-5561	春日・大野城・那珂川消防署	092-584-1191
(河川砂防課河川係)	092-513-5568	東出張所	092-504-7119
(河川砂防課砂防係)	092-707-0209	南出張所	092-595-0119
山神・牛頸・北谷ダム管理出張所	092-923-1211	福岡管区气象台(気象情報)	092-725-3605
九州電力送配電福岡南配電事業所(送配電設備)	0800-777-9411	NTT(電話サービスの故障など)	113 または 0120-444-113
(停電情報)	0120-426-305		



写真:平野台4丁目 法面対策工の様子

**2025年
(令和7年)
3月版**

防災活用メモ 家族の連絡先・避難所などを書き込みましょう!

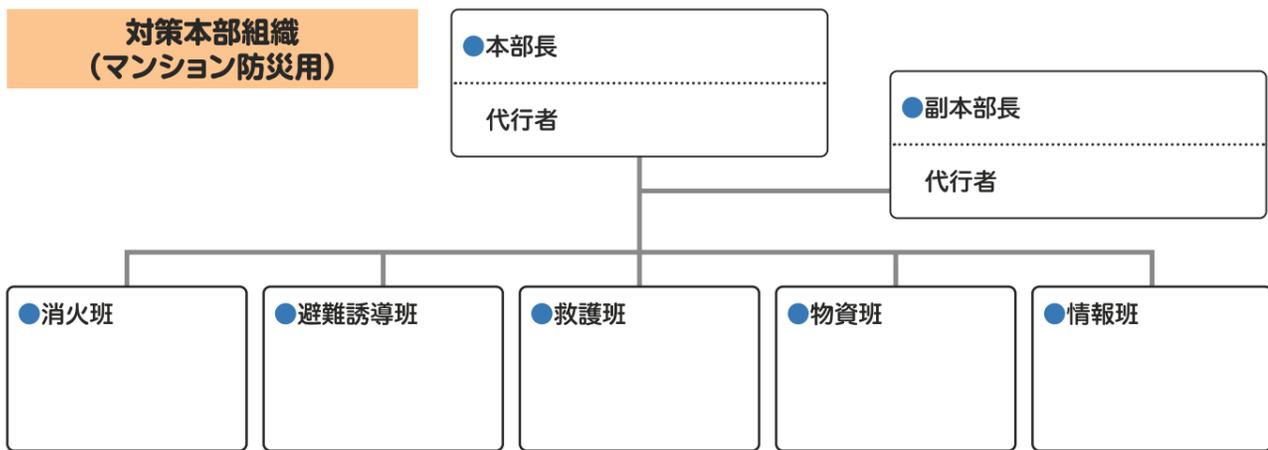
避難場所

風水害時 避難所		家族が 離ればなれに なった時の 集合場所	
地震災害発生時 避難場所			

家族の連絡先

名 前	電話番号	住 所	備 考

**対策本部組織
(マンション防災用)**



大野城市 総合防災マップ

目 次

はじめに	1
日頃の備え	2
防災関連情報の入手	5
避難について	7
洪水	13
土砂災害	14
地震	15
ハザードマップについて	17



はじめに

近年、「経験したことのない大雨」や「観測史上最大の大雨」などの異常気象により、全国各地で土砂災害や洪水被害が毎年のように発生し、多くの方が亡くなっています。大雨による災害だけでなく、地震も同様です。**いつ、どこで発生してもおかしくない自然災害を、「わがこと」としてとらえ**、日頃から備えておく必要があります。

大野城市では、新しい避難情報やお住まいの地域における避難行動の考え方、感染症対策など、最新の情報に合わせて**総合防災マップ**を新しく作成しました。

この総合防災マップを活用して、身の回りの危険な区域と安全な避難場所がどこにあるのか、避難場所までの避難経路はどこが安全か、その他防災についてぜひご家族で考えてください。

また、いつでも確認できるように、目につきやすい場所に保管しておきましょう。

地域の防災力を高めるために重要な3つの「助」

災害による被害を最小限に抑えるためには「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠です。特に、「自助」(自分の命は自分で守る)、「共助」(自分たちの地域は自分たちで守る)という考え方が重要になります。



避難スイッチを決めましょう

身近に起こる異変や情報をもとに避難するきっかけ『**避難スイッチ**』を決めておきましょう。家族や近隣の人の命を助けるきっかけにもなります。



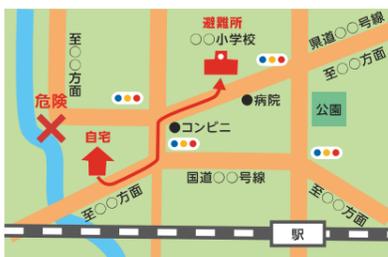
例) ・警戒レベル3が発令されたら
・地鳴りのような音がしたら
・普段は水が流れない水路があふれたら など

大野城市総合防災マップの使い方

- 1 自宅の位置・自宅周辺の危険な場所等を確認** 大判マップ 17~18ページ
自宅の位置に印をつけ、自宅やその周辺に土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの危険な場所がないか確認しましょう。
- 2 避難先・経路を確認** 大判マップ 11~12ページ
一番近い避難所を確認して印をつけましょう。あわせて、避難所までの安全な避難経路を各自で検討・確認しましょう。また、実際に歩いてみましょう。
- 3 災害の特性を確認** 13~16ページ
洪水や土砂災害などの災害の特性を知り、安全な避難行動へつなげましょう。
- 4 避難情報を確認** 5~6ページ
身の安全を守るためには、正確な情報を把握して早めの行動を心がけましょう。避難情報の種類と、情報の入手方法を確認しておきましょう。
- 5 日頃から災害に備える** 2~4ページ
いつ災害が起きても避難行動がとれるように、日頃から非常持出品や備蓄品を準備しておきましょう。また、自宅の安全対策もしておきましょう。
- 6 とるべき行動の確認** 7~10ページ ура表紙
避難する際にどのような行動をとるべきなのか、家族で話し合うときに、避難行動判定フロー(7ページ)やマイ・タイムライン(8ページ)を使って確認しましょう。

大判マップの洪水及び内水浸水想定区域は、2種類の降雨規模による浸水範囲と浸水深を示しています。

想定最大規模(L2版)
計画規模(L1版)



日頃の備え

非常持出品・備蓄品の準備

非常持出品

必要最小限にまとめ、すぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。

- **携帯ラジオ**
 - ラジオ
 - 電池(多めに用意)
- **懐中電灯**
 - 懐中電灯
 - 電池(多めに用意)
- **非常食など**
 - 非常用食品
 - ミネラルウォーター
 - 缶切り
 - 割り箸
 - 水筒
 - 紙皿
 - 紙コップ
- **救急用品**
 - 常備薬
 - キズ薬
 - ばんそうこう
 - おくすり手帳
- **感染症対策**
 - 手指消毒液
 - 体温計
 - マスク
- **貴重品**
 - 現金
 - 通帳
 - 印鑑
 - 健康保険証
 - 免許証
 - マイナンバーカード
 - 権利証書
- **その他**
 - 衣類
 - 離乳食
 - 紙おむつ
 - ラップ
 - ウェットティッシュ
 - 携帯電話・充電器
 - 防災マップ(本書)
 - 簡易トイレ・消臭スプレー
 - 生理用品
 - ライター
 - 雨具
 - スリッパ
 - 笛

リュックサックの詰め方



非常備蓄品

最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

- **非常食など**
 - アルファ米
 - 缶詰・レトルト食品
 - ドライフーズ・飴など
 - ミネラルウォーター(1日1人3リットルが目安)
- **調理器具など**
 - 卓上コンロ
 - ガスボンベ
 - 固形燃料
 - なべ・やかん
- **その他**
 - 衣類・毛布
 - 洗面用具・ドライシャンプーなど
 - ビニール袋
 - LEDランプ
 - 各種アウトドア用品

おすすめの非常食

● フリードライ食品

お湯などで溶かすだけの簡単調理で様々な栄養を補給できます。最近ではバリエーションが豊富です。



● お菓子

火を使わず手軽に栄養を補給できるうえ、ストレス解消にも効果的です。



家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えておきましょう。



ローリングストック法

保管している非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。



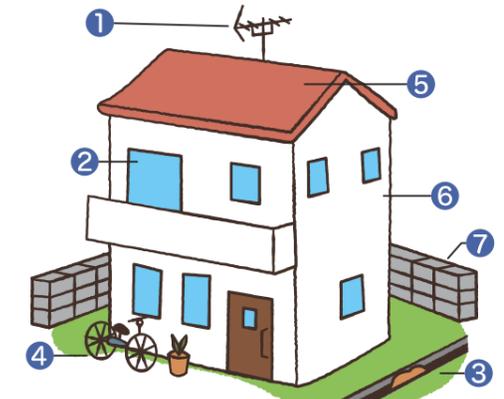
我が家の安全対策

安全と思われる家の中や家の外でも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- 重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の外の安全対策

- 
- 1 アンテナ、看板などは、針金などで補強する。
 - 2 窓を補強する。
 - 3 排水溝などのゴミや落ち葉を取り除き、水はけを良くする。
 - 4 風で飛ばされそうなものは家の中に入れる。
 - 5 瓦やトタン屋根に異常がないか確認する。
 - 6 外壁に亀裂がないか確認する。
 - 7 ブロック塀のぐらつき・破損を確認する。

マンション特有の安全対策

マンションでは、建物の構造や多くの人たちが一緒に生活しているという生活環境の特徴から一戸建てとは異なる防災対策が必要となります。

通路・非常口・非常階段

通行の妨げになるような物を置かないようにしましょう。また、階段を一齐に使用すると二次災害が発生するおそれがあるため注意しましょう。



ベランダ

ベランダの避難ハッチ(非常脱出口)の使用を確認しておきましょう。また、ハッチをふさぐようなものは置かないようにしましょう。



トイレ・ゴミの問題

配管・排水管が破損すると、水道やトイレを使うこともできません。水や簡易トイレなどの準備をおきましょう。

また、簡易トイレを使った場合、生活ゴミが回収されるまでの悪臭対策として、密閉容器や消臭スプレーなどを用意しておきましょう。



管理組合からの連絡

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡には日頃から注意しましょう。



エレベーターの停止

エレベーターが長期間停止した場合には、その間の移動は階段に頼らざるを得なくなります。水や食料などは多めに用意しておきましょう。



自主防災組織で地域を守る

大野城市では、すべての行政区に自主防災組織を結成しています。災害が発生した場合に備えて、防災・減災に関するさまざまな活動を行っていますので、皆さんもぜひ参加しましょう。詳しくは、地元の公民館に問いあわせてください。



自主防災組織の主な活動

- 危険箇所の点検 ●防災備蓄品の整備 ●避難行動要支援者の把握 ●防災学習や防災研修の実施
- 防災訓練の実施(避難所の開設・運営訓練、避難者の誘導訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練 など)

防災訓練に参加しましょう!

人は大きな災害などの想定外の出来事に直面すると、平常心を失い、なかなか思うように身体が動かないものです。そうならないためには、本番を想定した防災訓練に積極的に参加して、いざというときでも落ち着いて行動できるように準備しておくことが重要です。また、防災訓練に参加することで、地域の方々との輪も広がり、共助(地域のことは地域で守る)の向上にもつながります。

写真: 令和2年度大野城市 市民総ぐるみ防災訓練(釜蓋地区 シェイクアウト訓練)



要配慮者を地域で守る

「要配慮者」とは、災害が起きたとき、あるいは起きそうなときに、何らかの支援がないと自らの安全を確保できない人たちのことです。地域で協力して支援していきましょう。

想定される主な要配慮者

- 高齢者(一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯など)
- 障がいのある人(身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者など)
- 介護が必要な人 ●乳幼児・妊婦
- 難病患者、傷病者 ●外国人

要配慮者の特性

- 1 災害の危険を察知することが困難である。
- 2 自分の身に危険が差し迫っていても、助けを求めることが困難である。
- 3 危険を知らせる情報を受け取ることや正しく理解することが困難である。
- 4 危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

災害時避難行動要支援者の支援制度

市では、災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がいのある人など(避難行動要支援者)の支援体制の充実を目的として、災害時避難行動要支援者名簿(毎年更新)を作成しています。

毎年8月中旬頃、対象の方に「災害時避難行動要支援者支援計画届出書兼情報提供同意書」を送付しており、届出いただいた名簿情報をもとに民生委員や自主防災組織などと連携しながら、支援を行います。

記入項目

- 情報提供に関する同意 ●支援の希望 ●基本情報 ●緊急連絡先
- 支援者の指定 ●支援の方法 ●身体状況など
- 家族構成 ●かかりつけ医などの情報 ●その他特記事項

災害危険区域内に位置する要配慮者利用施設

大野城市ホームページに掲載の地域防災計画から、浸水想定区域などの災害危険区域内に位置する要配慮者利用施設(老人ホームや障がい者福祉施設など)の名称や所在地を一覧表で確認できます。該当ページ: 資料編(第2章: 2-49-1, 2-49-2, 2-50)



※必ず皆さん提出してください。(昨年度、提出した方も再提出が必要です。)

※9月末日までに提出してください。

避難行動要支援者名簿登録同意書

大野城市災害時避難行動要支援者支援計画届出書兼情報提供同意書

I 情報提供に関する同意 ※必ず記入してください

①あなたの避難支援カードの情報を、支援してもらおう人たちに事前に知らせてもいいですか?

事前の情報提供に 同意します。 同意しません。

令和 年 月 日 署名 _____ 代理署名 _____

なお、同意書は、同意の有無に関わらず、災害対策基本法に基づき、避難支援カード(支援計画)の内容について、避難支援等関係者へ情報提供することがあります。

II 支援の希望 ※必ず記入してください

②現在のあなたの居場所はどこですか?

自宅 長期入居中 短期入居中

災害時は、緊急者が発生した「避難計画」に基づき、避難支援カードに記載の住所に避難します。避難先が変更された場合は、必ずお知らせください。

③災害が起きたとき、ご自分で(同居の家族と)避難所まで避難ができますか?

はい いいえ

④普段からの声かけ(関わり)を希望しますか?

はい いいえ

⑤の質問で「いいえ」と回答した方は、引き続きウラ面以降の記入をお願いします。

防災関連情報の入手

避難に関する情報～5段階の警戒レベル～

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
～～～＜警戒レベル4までに必ず避難!＞～～～			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

大野城市からの情報

大野城市ソーシャルメディア

大野城市
ホームページ



LINE
ライン



X<旧Twitter>



Facebook
フェイスブック



戸別受信機

大野城市では、災害時の情報伝達手段として災害情報伝達システム、災害情報等配信サービス等を用いて情報発信を行っています。

- 受信内容 避難情報等の防災情報、Jアラートによる緊急情報、市や各区からのお知らせミュージックチャイム(毎日2回(17:00・18:30(10～3月は18:00))等
- 対象者 市内に住所を有する人、市内に事業所等を有する人
- 台数 1世帯(事業所)につき1台
- 利用者負担 機器代は無償、設定費用として、2,000円の負担をお願いします。
- 申請方法 「大野城市防災行政無線戸別受信機貸与申請書」を危機管理課までご提出ください。
- その他 電波受信状況によっては、アンテナ工事が必要となります。
※アンテナ工事の費用については、市が負担します。



災害情報伝達システム(防災行政無線)

災害発生時に情報をいち早く伝えるために「災害情報伝達システム」の屋外拡声子局の設置を市全域で行っています。

サイレン信号 高齢者等避難



サイレン信号 避難指示



放送内容は
大野城市ホームページ
でも確認できます!



インターネットによる情報入手

福岡県総合防災情報

福岡県 総合防災情報 検索



ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)

気象庁 ナウキャスト 検索



国土交通省 川の防災情報

川の防災情報 検索



福岡管区气象台

福岡管区气象台 検索

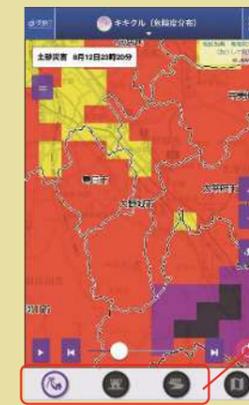


キキクル(危険度分布)

気象庁 キキクル 検索



大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度の高まりを地図上で確認できます。危険度は、5段階の色で表現しています。



地図下部のマークから、切り替えることができます。



アプリによる情報入手

NHK ニュース・防災

NHK 防災アプリ 検索



iOS版



Android版

Yahoo!防災速報

ヤフー 防災アプリ 検索



iOS版



Android版

逃げなきゃコール

逃げなきゃコール 検索



アプリから防災関連の情報も入手でき、アプリを活用した取り組みとして「逃げなきゃコール」があります。スマートフォンアプリの地域登録機能を使って、離れた場所に暮らす家族の地域に警戒情報が出されたら、直接電話をかけて避難行動を呼びかけましょう。

ふくおか防災ナビ・まもるくん

ふくおか防災ナビ・まもるくん 検索

福岡県が配信するアプリで、さまざまな情報を確認できます。



iOS版



Android版

メールによる情報入手

緊急速報メール(エリアメール)

気象庁が配信する緊急地震速報、市が発信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信されます。観光や仕事、一時的に滞在している方も受信できます。(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社Webサイトを確認してください。)

テレビによる情報入手

地上デジタル放送では、リモコンの『d』ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認できる「データ放送」を配信しています。

NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。KBCテレビの「dボタン広報誌」では、市のお知らせに加えて災害発生時の避難情報などが配信されます。



避難について

避難行動判定フロー

避難とは避難所に行くことではなく「難」を「避ける」ことです。
 家族や自宅の置かれている状況で、いつどこに避難すればよいのかイメージしてみましょう。

家のある場所をハザードマップで確認しましょう。**大判マップ(L2版)**

想定浸水深が**0.5m以上**
 土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されている

いいえ

在宅避難

・1週間程度の食料や日用品を備えておきましょう。**2ページ**
 ・想定外の被害が発生することもあるので、身の危険を感じた場合はその他の避難行動を取りましょう。



早期の立退き避難が必要な区域
 ・想定浸水深が**3m以上**まで浸水のおそれ
 ・長期の浸水が想定されるとき
 ・自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内など家にいると危険な場合

はい

避難所等への「立退き避難」

・警戒レベル4までに必ず避難しましょう。
 <避難所の例>
 ・浸水想定区域外の「避難所」
 ・浸水想定区域外の「親戚・知人の家」



逃げおくれた時は…

避難にかかる時間を考えましょう

500m歩くのにかかる時間(目安)
 大人:約6~8分 高齢者:約10分



避難所への「立退き避難」が困難なとき

・遠方まで時間をかけての避難が困難なとき

近隣の安全な場所への「立退き避難」

<安全な場所の例>
 ・高い強固なビル
 ・小高い場所



外への避難が危険なとき

・夜間や激しい降雨で避難経路上の危険箇所が分かりにくい
 ・流れがあり、膝上まで浸水している
 ・水の流れる速度が速い
 ・用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

家の中の安全な場所で「屋内安全確保」

<安全な場所の例>
 ・上の階
 ・崖から離れた部屋
 ※あくまで逃げおくれた時の避難方法なので、極力上記いずれかの避難行動を取りましょう。



マイ・タイムラインの作成

災害に備えて、家族で「いつ・だれが・どう行動する」ということを考えてタイムラインを作成しましょう。
 マイ・タイムラインを作成することで、いざという時にあわてず行動ができます。

記入例

	洪水の想定浸水深	0.5~3m	土砂災害の警戒区域等	ある・ない
平時のそなえ	防災情報なし	例: 1ヶ月に一度備えを確認 ハザードマップで避難場所を確認する。	個人の行動 1. 物品 <input type="checkbox"/> 食料、飲料水、燃料の準備 <input type="checkbox"/> 非常持出品の準備 追加項目 ハザードマップで自宅の場所を確認する。避難所まで歩いてみる。	
警戒レベル1	早期注意情報	例: 今後、大雨のおそれがあるとニュースで確認した場合 数日後に九州北部に大雨の予報	1. 安全対策 <input type="checkbox"/> 家の周りの片付け 2. 情報収集 <input type="checkbox"/> 気象情報の確認 <input type="checkbox"/> 家族の予定を確認 3. 物品 <input type="checkbox"/> 非常持出品の確認 <input type="checkbox"/> 常備薬の準備 追加項目 家の外にある飛ばされそうなものを片付ける。窓を養生テープで補強する。	
警戒レベル2(前日)	洪水注意報 大雨注意報 等	例: 大野城市を対象に大雨注意報が発令されたとき キキクルで『注意』(黄色)が出たとき	1. 安全対策 <input type="checkbox"/> 家族と防災会議を実施 <input type="checkbox"/> 避難経路、避難所の確認 2. 情報収集 <input type="checkbox"/> 川の水位をインターネットで確認 3. 物品 <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電 追加項目 テレビやインターネットで雨・川の水位情報を確認する。家族の予定を確認する。	
警戒レベル3(半日~数時間前)	大雨警報(土砂災害) 洪水警報 等 高齢者等避難	例: 高齢者等避難が発令されたとき キキクルで『警戒』(赤色)が出たとき	1. 安全対策 <input type="checkbox"/> 避難所に避難を開始 <input type="checkbox"/> 不要不急の外出を控える 2. 情報収集 <input type="checkbox"/> 災害情報伝達システムからの情報を聞く 3. 物品 <input type="checkbox"/> 断水に備え、浴槽や容器に水を溜める 追加項目 おじいちゃん達と一緒に避難開始!	
警戒レベル4(1~2時間程前)	土砂災害警戒情報 等 避難指示	例: 避難指示が発令されたとき キキクルで『危険』(紫色)が出たとき	1. 安全対策 <input type="checkbox"/> 避難完了 2. 情報収集 <input type="checkbox"/> 家族が避難したか確認 追加項目 もし、避難できなかったときは、2階の寝室に避難する。	
警戒レベル5	大雨特別警報 等 緊急安全確保	例: 御笠川が氾濫/土砂災害が発生 キキクルで『災害切迫』(黒色)が出たとき	1. 安全対策 <input type="checkbox"/> 垂直避難 2. 情報収集 <input type="checkbox"/> 家族、親戚に状況を連絡 追加項目 すぐに身の安全を確保する。	

立退き避難のポイント(全般)

●高齢者などには気配りを

近所に高齢者や病気の方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。



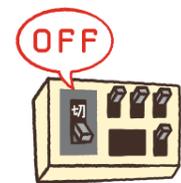
●速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発令された場合、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。



●避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



●災害用伝言板・SNSで連絡する

災害発生時は、電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。熊本地震では、SNSが活躍しました。



●車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



立退き避難のポイント(洪水時)

●避難のときの靴

長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。



●見回りは絶対ダメ

大雨時の田んぼや河川の見回りは大変危険ですので、やめましょう。



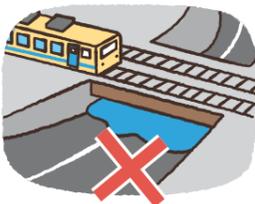
●避難路に注意

橋を渡らないようにしましょう。



●アンダーパスに注意

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまるおそれがあるので、車で入らないようにしましょう。



●足元に注意

足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも、道路の真ん中を杖をつきながら慎重に歩きましょう。



立退き避難のポイント(土砂災害時)

●屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)を通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認しましょう。

●やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保しましょう。



●雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

●がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。

避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げましょう。



●土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向へ逃げましょう。



立退き避難のポイント(要配慮者への配慮)

●高齢者・病人

・おんぶ(または担架、リヤカーなどを利用して)安全な場所まで避難する。
・複数の介助者で対応する。



●車いすを利用している方

・階段では介助者2人以上が必要。
・上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
・介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



●知的障がいなどのある方

・落ち着いた口調で優しく接しましょう。
・声かけはゆっくり、具体的に、短い言葉ですると分かりやすいです。



●目の不自由な方

・声をかけ、情報を伝える。
・誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



●耳の不自由な方

・話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
・手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



●日本語が話せない方

・身振りや手振りなどでコミュニケーションをとる。
・「やさしい日本語」で積極的に支援の意思を伝える。



在宅避難のポイント

●今後の防災情報に注意しましょう。

身の危険を感じた場合は避難しましょう。

●ライフラインが停止した場合を想定しておきましょう。

住む場所が安全だったとしても、ライフラインが停止している場合があります。

在宅避難をする場合は、数日間(最低7日)は生活できる備蓄品を準備しておきましょう。備蓄品の項目は2ページへ



電気・ガスが止まった!

・電化製品が使えない。
・明かりがつかない。
・ガスが使えない。

卓上コンロやLEDランプを準備!

水道が止まった!

・水道・トイレが使えない。

簡易トイレの準備!

断水時のトイレ対策

災害が発生すると断水などによりトイレが使えなくなることがあります。災害時に備え簡易トイレを準備しておきましょう。

●簡易トイレの目安

家族の人数×一日当たりのトイレの回数×7日分

●身の回り品で作る緊急用トイレ

- ①ポリ袋(45L程度)を便座に2枚被せる。
- ②くしゃくしゃにした新聞紙をポリ袋の中に敷き詰める。
- ③用を足す。
- ④消臭スプレーなど消臭効果のあるものを上からかける。
- ⑤内側のポリ袋を取り出し空気を抜いて口を強くしばる。
- ⑥もえるごみとして出す。



車中泊避難のポイント

車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコンの完備、ラジオ・テレビからの情報収集などの利点があります。その一方で、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒など健康上の危険にも十分注意する必要があります。

●一酸化炭素中毒に注意

・こまめな換気をしましょう。
・長時間のアイドリングを避けましょう。
・他の車の排ガスを取り込まないように車と車の距離を保ちましょう。

●エコノミークラス症候群を防ごう

- ・長時間、車内で同じ姿勢でいることを避ける。
- ・ゆったりした服装で過ごす。ベルトもきつく締めない。
- ・血流を改善する弾性ストッキングをはく。
- ・眠るときは、足をあげるか、できるだけ体を水平にする。



・適度に水分をとる。(アルコールは不可)

・ときどき車外に出て歩いたり、体操したりして体を動かす。

・かかとを動かしたり、ふくらはぎをマッサージしたりする。

避難所一覧 ※令和7年12月1日付で瑞穂町集会所は指定避難所及び指定緊急避難所から取消

災害の危険性が高まった場合や災害が発生した場合に、住民の方に災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在してもらう、または災害により家に戻れなくなった住民の方に一時的に滞在してもらうための施設として避難所を指定しています。災害の状況に応じて、避難所を開設できない場合もあります。また、自主避難される場合は市に連絡してください。

※1:▲は災害危険区域内に位置していることを表しており、避難の際には注意が必要です。
 ※2:「L1」は計画規模、「L2」は想定最大規模の洪水浸水想定区域です。詳しくは17ページ
 ※3:「L1'」は既往最大規模、「L2'」は想定最大規模の内水浸水想定区域です。詳しくは17ページ
 ※4:災害時に避難する自宅周辺の避難所にはチェック欄に○印をつけておきましょう。

名称 (★は福祉避難所を兼ねる)	住所	番号 (092-)	災害対応種別※1					チエック ※4	
			地震	洪水※2		内水※3			土砂災害
				L1	L2	L1'	L2'		
上筒井公民館	筒井3-8-1	571-4116	○	○	▲	○	○	○	
下筒井公民館	筒井1-7-1	571-4115	○	○	▲	○	▲	○	
山田公民館	山田4-13-17	571-4386	○	○	▲	○	○	○	
雑餉隈町公民館	雑餉隈町3-3-7	591-6074	○	○	○	○	○	○	
栄町公民館	栄町1-1-11	572-8665	○	○	○	○	○	○	
仲島公民館	仲畑4-21-1	572-1147	○	▲	▲	○	○	○	
畑詰公民館	仲畑2-9-12	571-0460	○	▲	▲	○	○	○	
北コミュニティセンター★	御笠川1-17-1	513-0099	○	○	▲	▲	▲	○	
大野北小学校	山田4-17-1	581-1501	○	▲	▲	▲	▲	○	
御笠の森小学校	御笠川1-7-1	504-1431	○	▲	▲	▲	▲	○	
青少年の居場所	筒井2-2-2	580-1811	○	○	▲	○	▲	○	
上大利公民館	上大利2-18-1	596-4686	○	○	○	○	○	○	
中大利公民館	中央1-2-15	571-4322	○	○	○	○	▲	○	
下大利公民館	下大利2-10-10	571-6367	○	○	○	○	▲	○	
東大利公民館	東大利1-12-5	591-8943	○	○	▲	○	○	○	
下大利団地公民館	下大利団地4-2	573-8440	○	▲	▲	○	▲	○	
白木原公民館	白木原1-5-5	571-4403	○	○	○	○	○	○	
瓦田公民館	瓦田3-1-1	571-4453	○	○	▲	○	▲	○	
白木原集会所	白木原4-5-26	584-3422	○	○	▲	○	○	○	
瑞穂町集会所	瑞穂町2-2-26	571-4453	○	○	○	○	○	○	
中央コミュニティセンター★	中央1-5-1	573-3127	○	○	○	○	○	○	
大野小学校	瓦田3-2-1	581-1027	○	○	▲	○	▲	○	
大利小学校	上大利1-7-1	596-3092	○	○	○	○	○	○	
下大利小学校	東大利4-8-1	501-8722	○	○	▲	○	○	○	
大野中学校	白木原3-11-1	581-0153	○	○	○	○	▲	○	
大利中学校	上大利1-6-1	596-2911	○	○	○	○	▲	○	
大野城まどかぴあ	曙町2-3-1	586-4000	○	○	○	○	○	○	
すこやか交流プラザ★	瓦田4-2-1	501-2222	○	▲	▲	▲	▲	○	

名称 (★は福祉避難所を兼ねる)	住所	番号 (092-)	災害対応種別※1					チエック ※4	
			地震	洪水※2		内水※3			土砂災害
				L1	L2	L1'	L2'		
釜蓋公民館	大城4-9-5	503-0022	○	○	○	○	○	○	
井の口公民館	大城1-25-1	503-5384	○	○	○	▲	▲	○	
中公民館	川久保1-7-1	504-0258	○	○	○	○	○	○	
乙金公民館	乙金2-5-18	504-1870	○	○	○	○	○	○	
乙金台公民館	乙金台2-17-3	503-9793	○	○	○	○	○	○	
乙金東公民館	乙金東3-5-43	503-8812	○	○	○	○	○	▲	
大池公民館	大池2-2-2	504-1386	○	○	○	○	○	○	
中集会所	中1-6-21	504-7321	○	○	○	○	○	○	
東コミュニティセンター★	大池2-2-1	504-1428	○	○	○	○	○	○	
大野東小学校	乙金1-18-1	503-7160	○	○	○	▲	▲	○	
大城小学校	大城3-29-1	503-6332	○	○	○	▲	▲	○	
大野東中学校	乙金台2-5-1	503-5101	○	○	○	○	○	○	
御陵中学校	中1-20-1	503-2901	○	○	○	○	○	▲	
総合体育館	大字乙金618-12	503-0021	○	○	○	○	○	▲	
牛頸公民館	大字牛頸1357-5	596-3513	○	○	○	○	○	○	
平野台公民館	平野台1-20-7	596-3539	○	○	○	○	▲	▲	
月の浦公民館	月の浦3-24-6	595-7147	○	○	○	○	○	○	
南ヶ丘1区公民館	南ヶ丘2-19-1	596-3108	○	○	○	○	▲	○	
南ヶ丘2区公民館	南ヶ丘4-17-1	596-3501	○	○	○	○	○	○	
つつじヶ丘公民館	つつじヶ丘3-1-30	596-0027	○	○	○	○	○	○	
若草公民館	若草2-6-23	596-0065	○	○	○	○	▲	○	
いこいの里	大字牛頸2472-1	596-3455	○	○	○	○	○	○	
南コミュニティセンター★	南ヶ丘5-9-1	596-0686	○	○	○	▲	▲	○	
大野南小学校	南ヶ丘4-18-1	596-1223	○	○	○	○	○	○	
平野小学校	横峰2-4-1	596-5711	○	○	○	○	○	○	
月の浦小学校	月の浦3-22-1	595-6776	○	○	○	○	○	○	
平野中学校	つつじヶ丘4-1-1	596-6501	○	○	○	○	○	○	

避難所生活の心得

避難所到着後の例

1 連絡先などの申告

避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を申告し、できるだけ隣近所の人や地域ごとにまとまって過ごす様にします。帰宅困難者の方はその旨を申告します。



2 役割分担

お互いに協力し合って避難所を運営しなければならないことも多くあります。受付や炊き出しなど、割り当てられた係の仕事はしっかり行いましょう。



3 体調管理・衛生管理

毎日の検温や手洗い・うがい・マスク着用の徹底など、感染症等にも十分注意する必要があります。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。



避難所でのマナー・ルール

1 ゴミのマナー

原則として、ゴミは各自で持ち帰ることとなっています。長期の避難生活になった場合は、ゴミの分別に協力しましょう。



2 時間のマナー

避難所では夜間に消灯時間などを設けることがあります。避難生活において、休めるときにゆっくり休むことが重要になりますので、みんなで協力しましょう。



3 出入りのマナー

避難所を出入りするときは、避難所担当者へお知らせください。不審者等の出入りを防ぐ効果があります。また、避難所を退去して自宅等に戻られる際も同じになります。



洪水

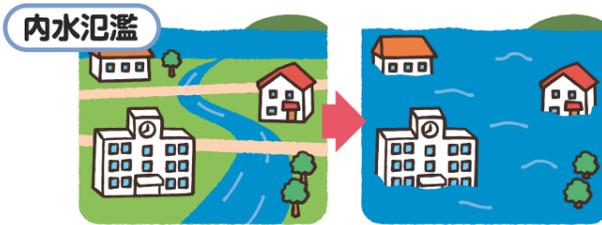
氾濫の種類 (外水氾濫と内水氾濫)

外水氾濫 (洪水)



大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れだす現象を「外水氾濫」と言います。

内水氾濫



大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」と言います。

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨 (気象台が発表)
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる			特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動をとってください。
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる			

今いる場所で雨が降ってなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

突然の大雨に注意

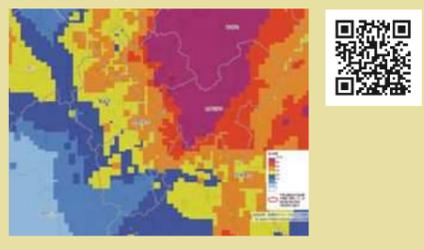
局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。

次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)
5分ごとに1時間先までの雨雲の動きを確認できます。



御笠川の河川水位情報

▼ 堤防を越える		筒井橋	落合橋 (太宰府市)
▼ 氾濫危険水位	河川が氾濫するおそれがある水位	4.69m	2.82m
▼ 避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位	4.32m	2.55m
▼ 氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位	3.50m	2.10m
▼ 水防団待機水位	水防団が待機する目安となる水位	2.70m	1.50m



土砂災害

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

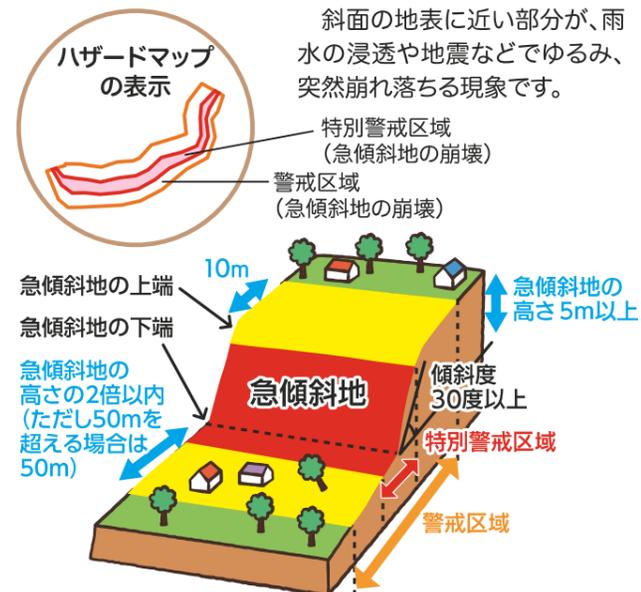
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民などの生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる地域で、建築物の建造規制などが行われます。

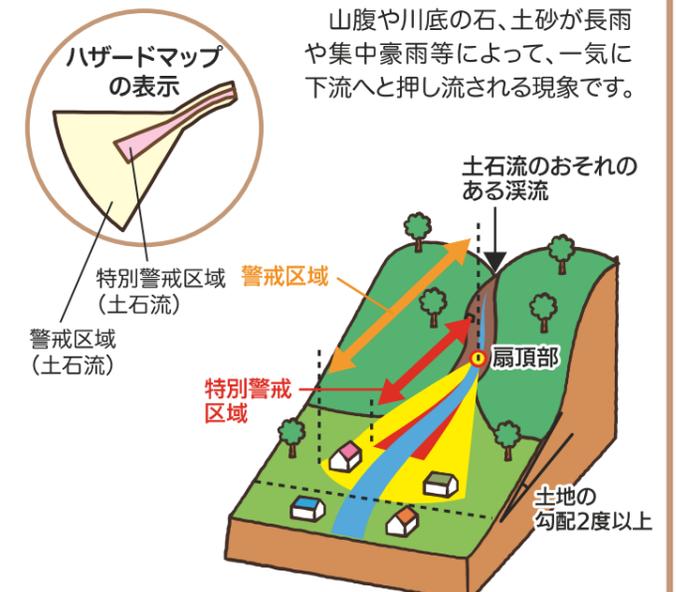
土砂災害(特別)警戒区域内では、土砂災害への警戒と安全な場所への早めの避難を心がけてください。

土砂災害の種類とその前兆現象

急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)



土石流



がけ崩れのサイン

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がぱらぱらと落ちてくる



土石流のサイン

- 山鳴りがする
- 急に川の流が濁り流木が混ざっている
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



土砂災害警戒情報 (警戒レベル4相当)

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。

- 土砂災害警戒情報が発表されたら
- ハザードマップや土砂キキクルで自宅周辺の危険度を確認しましょう。
 - 大野城市が発表する避難情報に注意しましょう。
 - 土砂災害警戒区域内にお住まいの方は、ただちに避難しましょう。

地震

地震発生時のタイムライン

地震発生

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- 家具やガラス面から離れる。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。



緊急地震速報

震源に近い観測点で地震を察知し、直ちに震源や地震の規模(マグニチュード)などを推定し、大きな揺れが始まる数秒前から数十秒前にお知らせするシステムです。情報が出たら、身を守ることを第一に、どのような行動がとれるか、日頃から話し合っておきましょう。

緊急地震速報の流れ



こんなときは

人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い落ち着いて行動。

路上にいた!

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

注意

ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。



車を運転していた!

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで待つ。

注意

避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。



山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。



エレベーターの中にいた!

すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。

注意

閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



揺れがおさまったら

- 脱出口を確保する。
- 電気のブレーカーを落とす。
- 家族の安全を確保する。
- ガスの元栓を締める。
- 靴をはく。



隣近所の安全確認

- 隣近所に声をかける。
- 近所に火が出ていたら初期消火。
- 余震に注意。
- 非常持出品を用意する。



ラジオなどで正しい情報を入力

- 正しい情報を入力。
- 緊急連絡を優先。(回線が混雑するため)
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。

⇒避難場所へ避難 震度予想図をチェック



協力して消火・救出・救護活動

- 助け合いの心が大切。
- 水・食料は蓄えているもので。
- 壊れた家には入らない。
- 災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。



震度予想図

このマップは、警固断層帯南東部を震源とするマグニチュード7.2の地震を想定した震度予想です。

※警固断層帯南東部では地震が今後30年以内に発生する確率は0.3~6%で、全国の主な活断層の中では発生確率の高いグループに属しています。

まずは一時避難場所

近くの一時的避難場所(公園や神社の境内、空地など取り急ぎ身の安全を確保できる場所)に避難しましょう。

地区避難場所

災害発生時に、火災の燃焼によって生じる輻射熱等に対して、安全を確保できる場所であり、一時避難場所より安全性が高い学校のグラウンドや近隣公園等。

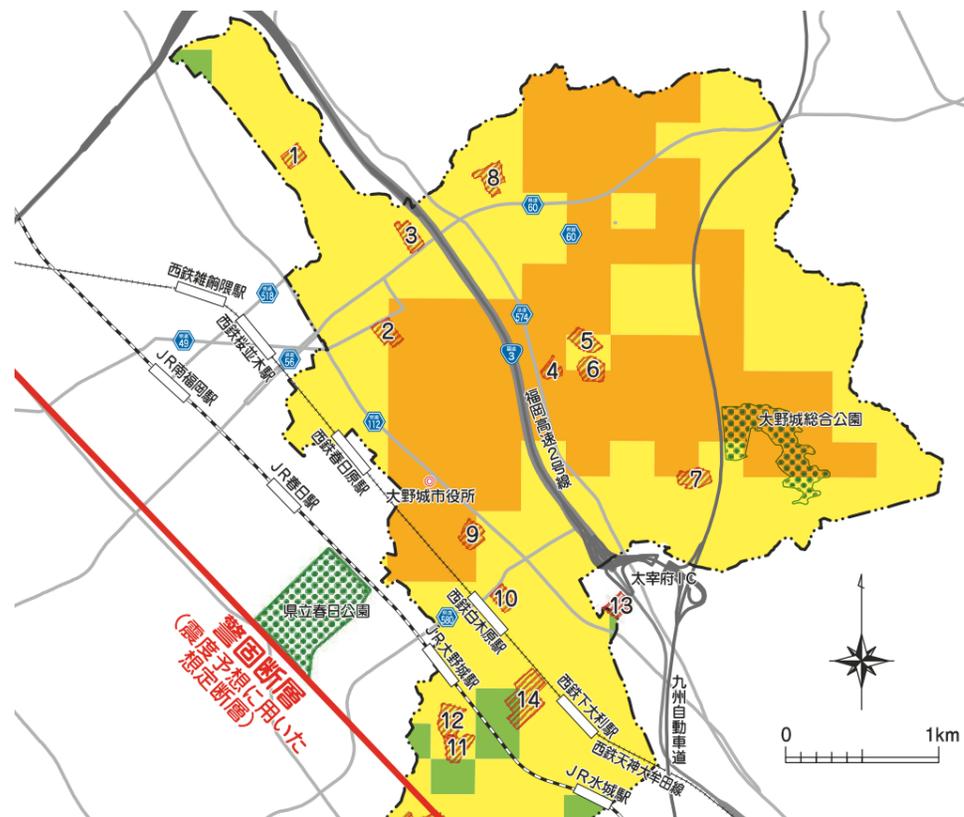
No.	地区避難場所
北地区コミュニティ	
1	仲畑中央公園
2	大野北小学校
3	御笠の森小学校
東地区コミュニティ	
4	大池公園
5	大野東小学校
6	大野東中学校
7	大城小学校
8	御陵中学校
中央地区コミュニティ	
9	大野小学校
10	大野中学校
11	大和利小学校
12	大和利中学校
13	下大和利小学校
14	筑紫中央高校
15	三兼池公園
南地区コミュニティ	
16	大野南小学校
17	月の浦近隣公園
18	月の浦小学校
19	つつじヶ丘近隣公園
20	平野中学校
21	平野小学校

広域避難地

大規模な災害発生時、大火災の発生、危険物の爆発等のおそれがある場合に、最終的な避難場所となり、一時避難場所及び地区避難所よりさらに安全性が高い場所。

広域避難地

- 大野城総合公園
- 県立春日公園



震度とゆれの状況

震度5強

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 棚にある食器類や本など、落ちるものが増える。
- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾いたり、倒れたりすることがある。

震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定されていない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりやがけ崩れが発生することがある。

ハザードマップについて

大野城市ハザードマップ 想定最大規模 (L2版)

洪水浸水想定区域:想定最大規模 (L2)

対象降雨: 想定最大規模の降雨 (御笠川流域の24時間雨量966mm)
対象河川: 御笠川水系御笠川、牛頸川

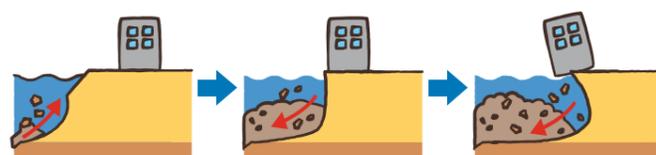
※想定最大規模: 想定し得る最大規模の降雨のことで、1000年以上に1回の雨を想定しています。

●家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期の立退き避難が必要な区域)

はんらんりゅう 氾濫流による家屋倒壊等
堤防の決壊等に伴う激しい流れによる木造家屋の流失、倒壊を想定しています。



かがん しんしよく 河岸侵食による家屋倒壊等
激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られることによる家屋の流失、倒壊を想定しています。

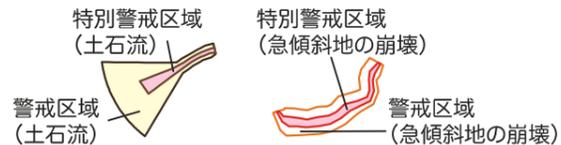


内水浸水想定区域:想定最大規模 (L2)

対象降雨: 想定最大規模の降雨 (1時間雨量153mm)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

福岡県が令和6年末までに指定した、「急傾斜地の崩壊」と「土石流」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。



大野城市ハザードマップ 計画規模 (L1版)

洪水浸水想定区域:計画規模 (L1)

対象降雨: 計画規模の降雨 (御笠川流域の24時間降雨325mm)
対象河川: 御笠川水系御笠川

※計画規模: 河川整備の目標とする降雨のことで、御笠川では100年に1回程度の雨を想定しています。

内水浸水想定区域:既往最大規模 (L1')

対象降雨: 市内の既往最大降雨 (1時間雨量95mm)

※既往最大降雨: 平成21年7月24日～平成21年7月26日の雨を想定しています。

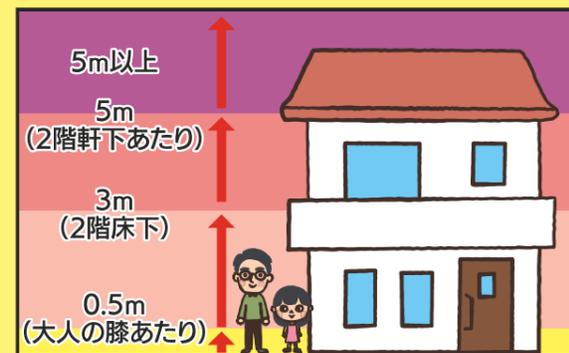
土砂災害警戒区域・特別警戒区域

L2版と同様です。

※地図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



想定浸水深の目安



3m 浸水したら…

家屋の1階がすべて水に浸かってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。また、3m以上の浸水になると2階以上も水に浸かります。

50cm 浸水したら…

家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。

※ハザードマップの浸水想定区域は、洪水・内水の浸水想定区域を重ね合わせ、それぞれの地点で浸水深の深い方を表示しています。

家などが被災したら…

地震・大雨・台風などの自然災害で被害を受けた(り災した)方が、税の減免申請や保険金の請求をするためには、「り災証明」または「被害届出証明」が必要です。「り災証明」は市職員が被災状況の現地調査を行って発行します。「被害届出証明」は被害を受けた方が、被害状況の分かる写真を提出されれば発行できます。

※被害届出証明は、災害対策基本法第2条に規定する災害により受けた被害のうち、り災証明の対象事項でなく市の調査確認ができていない被害について、本人の届け出があったこと及び被害当日の気象状況を証明するものです。被害の事実について証明するものではありません。

修理や片付けをする前に『被害状況のわかる写真』を4方向から撮影しましょう。人が立つと浸水の高さなどが分かりやすくなります。



- 浸水した深さが分かるように撮影する。
- 被害状況が分かるように様々な角度から撮影する。
- 室内の状況や家電も撮影する。
- 浸水した車なども撮影する。

区域の指定に関する問い合わせは…

洪水浸水想定区域(御笠川・牛頸川) …………… 福岡県 河川管理課 (092-643-3690)
土砂災害警戒区域・特別警戒区域 …………… 福岡県 砂防課 (092-643-3678)
その他 …………… 大野城市 危機管理課 (092-580-1899)